

2024—1—27

会長 吉田昌彦

新たな年の始まり、家族や友人と一緒に  
**おせち料理**やおとそを頂く、**20日には大家**  
を迎え、一年で最も寒さが厳しいころ、季  
節の野菜が乏しい時期なので栄養バランス  
に注意。例年だと、“サア—”今年は何をや  
ろうか、何か一步を踏み出す気構えの年頭だが…



一向に衰えを知らない新型も、逆に最近では数字の高まりが続く、5  
類移行後も一日500人を超える日もあり、第8波どころかインフルエン  
ザに混同し、年配者には特に厳しい、政府が真剣に取り組んでいるの  
か疑いたい。私達も自らの健康管理をしっかり心掛け、この時世を乗  
り切りましょう。

一方、年明け早々に発生した能登半島地震、災害状況は、まだまだ  
深刻な事態が続いている。災害規模も熊本地震を上回るような現地報  
道だ、また、災害支援に向かう、海上保安庁機と日航機の衝突事故…  
幸い日航機の搭乗人員が無事脱出で…日老連も年度末に向けて動き出しま  
した。情報は報告の中でお知らせいたします。

又、北部地区や四ツ谷永寿会でも会員の皆さんの心配りで元気にやれるク  
ラブから活動し出しました。活動報告でお知らせいたしますが、活気ある楽  
しいクラブを作り上げましょう。

## 1、令和6年度四ツ谷永寿会役員を選出と会員の把握について

新年度を迎えるにあたって、会の運営、連絡等に携わって頂く、理事(組長)  
の方は、組体制の再確認をお願い致します。コロナによる自粛解禁後の体制を  
強固にしましょう。各サークル長の方も、**リーダー・サブリーダー**を選出して  
いただきたい。

## 2、日老連主催の活動報告と今後の予定について

### ☆2—1 令和6年度補助金報告・申請方法の変更について

提出方法:原則**郵送**

領 収 書:決算額と同額以上のもののみ**提出可**

## 3、北部地区及び四ツ谷永寿会主催の活動について

### ☆3—1 第8回カラオケ大会について

去る、12/8(金) 煉瓦ホールで行われました。参加者は、全体  
で122名でした。出席者は、58名と昨年よりも12名多く、盛大に  
お互い美声を轟かせ、プロ顔負けの衣装に身を包み会場を包みま  
した。又、当日は、昨年の不手際等ありましたが、スムーズな運  
営が出来まして、次回開催が楽しみです。

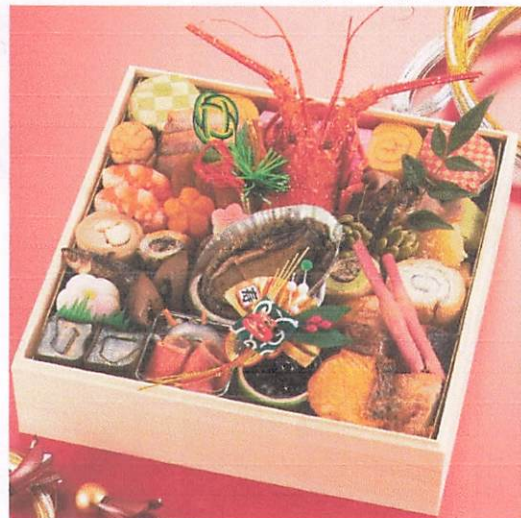
応援されました会員の皆さん大変ありがとうございました。

## 4、サークル紹介について

### ☆ゲートボウルサークル

当クラブは、日野市ゲートボウル連盟のメンバーとして、活動していましたが令和2  
年度で連盟が解散しましたので、いわゆる中央大会には参加できない状況です。  
コロナ禍で自粛ばかりでは、心身ともに委縮しますので、ワクチンを接種し三蜜に注  
意して週2回**月曜日と金曜日**に四ツ谷前公園で練習をしています。現在クラブ員は5  
名ですが、近隣の同好の人たち2~3名が時々練習に参加して活気付いています。

少年向けに発案されたスポーツですが、高齢者に最適です。一度見学に来てくだ  
さい。お待ちしております。時間は**9時から12時まで**です。





# 5、「鰻の放談」

5-1 ♪特攻キーボード作戦♪(音楽"3"以上だった者読むべからず!) No.37

＊さっさとグランドピアノ?…好之者不如樂之者だよー「毎日がフィナーレ」

## (えらみ)モスクワを陥落させた英雄(中下)

前回の補足です。日本の状況はどうかと言うと、**ナポレオン**がモスクワに侵攻してから**56年後**となりますが、日本でも銃器を全面に使った、大きな戦争が起こっています。それは、「**戊辰戦争**」(ぼしんせんそう)です。**1868年**(慶応4年/明治元年)1月、「鳥羽・伏見の戦い」を皮切りに、15代将軍「**徳川慶喜**」を擁する「**旧幕府軍**」と、**薩摩藩・長州藩**を中心とする「**新政府軍**」で争われた一連の戦争のことです。戊辰戦争は、鳥羽・伏見の戦いから始まり、「**江戸城無血開城**」、「**上野戦争**」、「**長岡城の戦い**」、「**会津戦争**」と1年以上続き、**1869年**(明治2年)の「**箱館戦争**」(五稜郭の戦い)にて終結しました。この終結により、国内は新政府によって統一され、新しい時代が始まることになるのです。なお、戊辰戦争という名称は、鳥羽・伏見の戦いが起こった年の干支が「**戊辰つちのえたつ**」の年だったことに由来しています。因みにその続きは、1928・1988・2048年がこれに当たります。

使用された銃は、**ゲベール銃**→**ミニエー銃**→**スナイドル銃**へと高性能に進歩して行きます。今迄、大河ドラマによく出てくるが、詳しい説明があまり無いですね。坂本龍馬の商社**亀山社中**が扱って大儲けした様です。日本で呼んだ名前なので翻訳する必要があります。

・**ゲベール銃**とは、**前装式**(先から弾を込める)、**滑腔銃身**(ライフリングがない)、**フリントロック式**(燧石式)、または**パーカッションロック式**(**雷管式**1860年~)の小銃を指します。正に、**マスケット銃**と呼ばれる其れ其の物なのです。幕末の日本では、オランダとの関わりが濃かったので、特にこう呼ばれる様になりました。「**ゲベール**」(**Geweer**)とはオランダ語で「小銃」を意味するが、本来のオランダ語での発音は「**ヘヴェール**」に近いのです。フランスにおける**シャルヴール・マスケット**やその1777年型である**マスケットM1777**、イギリスにおいては、**ブラス・バス**、米国では、**スプリングフィールドM1816/1842**、等が有名ですね。幕末期には、西洋軍制を導入すべく、江戸幕府や藩が相次いで**ゲベール**を購入しました。1831年に砲術家の**高島秋帆**(たかしま しゅうはん1789~1866)がオランダから輸入したのが始まりとされています。幕末の早い段階から輸入が開始され、すでに**施条銃**の時代となっていた**西欧**から旧式の**ゲベール**が大量に日本に輸出された。また、輸入だけではなく、**火縄銃**とは**発火装置**が異なる程度だったことから各地にて**国産**の**ゲベール**が製造されたほか、**火縄銃**の**発火装置**を(**燧石式**を飛ばして直接)**管打式**(**雷管式**)に改造した**和製ゲベール**も見られる。そのために**値崩れ**を起こし、価格は**1挺5両**ほどにまで下がったそうです。

・**ミニエー銃**(Minié rifle)とは、**射程**を飛躍的に向上させるべく、**弾丸**の**空洞**内に、**弾丸**の**拡張**を助ける役割を持つ**鉄製のキャップ**が挿入されている、**ミニエー弾**と呼ばれる独特の**弾薬**を使用する、**パーカッションロック式**(**雷管式**)の**前装式ライフル歩兵銃**の総称である。椎の実弾(丸くない弾)を使う**ライフル銃**としては**初期**の物で、**弾丸**は**1849年**に**フランス陸軍**の**グロト・エティエンヌ・ミニエ**大尉によって開発されました。

本来は、**滑腔銃身**である**マスケット銃**に**ライフリング**を刻みこんだもので、**ライフルド・マスケット**とも呼ばれています。従来使用されていた**ゲベール銃**(**マスケット銃**の一種)の銃身に**改修**を施す方法で製造される場合もありました。ミニエーの有効射程距離は、最も極端に書かれていた資料によると**500~1000m**、つまり、**ゲベール銃**の約**5倍**！**飛躍的に向上**したので

輸入が始まった頃は**薩摩藩・長州藩**や**幕府軍**で採用されていましたが、**薩摩・長州**では早い段階から、**ゲベール銃**よりも**新式**で**命中率・射程**に優れた**施条銃**である**ミニエー銃**や**スナイドル銃**への**更新**を進めました。幕府軍も**第二次長州征討**以降は積極的に**施条銃**を導入し、**幕府陸軍**の**歩兵隊**などに支給しました。戊辰戦争時点では**ゲベール銃**は時代遅れの銃となっていました**が**相対的に**安価**であり、**東北諸藩**のほとんどは**幕末期**に購入した**ゲベール銃**や**ヤーゲル銃**(**ライフリング付き**)が主力のまま**戊辰戦争**に突入せざるを得なかった様です。

・**スナイドル銃**(Snider-Enfield)とは、**イギリス**の**エンフィールド造兵廠**(**RSAF**)が**前装式ライフル銃**である**エンフィールド銃**を改造した**後装式**(**現代と同じ**)小銃です。日本では**蘭語読み**で「**スナイドル**」と呼ばれますが、**英語読み**では「**スナイダー**」で、これは**機関部**を考案した**ジェイコブ・スナイダー**(**Jacob Snider**)の名に由来します。

**1866年**に**イギリス陸軍**が**制式**採用しました。日本にも**明治維新**前後から**輸入**されるようになり、**明治7年**(**1874年**)には**旧日本陸軍**の**制式歩兵小銃**として採用されました。戊辰戦争期には、**先ず**、**イギリス**を通じて**薩摩藩**に導入され、**先進的軍備**の整備を目指した**長岡藩**や、**仙台藩**の**額兵隊**など**幕府諸軍**によっても**使用**されました。また、**後発**で**洋式軍制**を導入した**小藩**が**初期**導入しているケースもありました(**上山藩**・**郡上藩**など)。

戊辰戦争当時、日本に入っていた**スナイドル銃**の数は**少なかった**が、**後装式**で**連射性**に優れていたため、**会津戦争**での**戸ノ口原**の戦いでは**僅か10挺**の**スナイドル銃**が、**旧式**の**ゲベール銃**を**装備**した**会津藩白虎隊**を**打ち破る**など**戦力**の差は、**当時**から**歴然**としていた様です。

一方、幕府では**慶応2年**(**1866年**)**12月**に**ナポレオン3世**(**1808年4月20日**-**1873年1月9日**)から**2個連隊**分の更に**進化**した**シャスポー銃**が**提供**され、**追加**で**10000丁**ほど**注文**しています。銃自体は**命中精度**に優れていたが、**フランス語**で書かれた**教範**の**翻訳**が間に**合わない**ことや、**湿度**の影響を受けやすい**紙製薬莢**の問題もあり、**前装銃**と全く異なる**使用法**に兵が**戸惑い**、**残念**ながら**普及**が間に**合わなかった**そうです。 倉岡 裕 記

## 6、会員の異動報告 2024年1月14日現在

無し

## 7、次回の役員会

令和6年2月24日(土) 9:30~

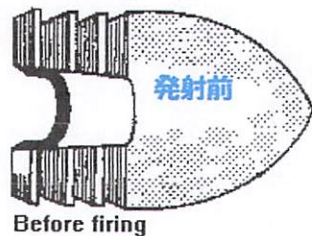
苦勞がなく金持ちになる  
クログナモ子(黒縁菊)



ライフリング(施条)銃口から見た



### ミニエー弾の構造



Before firing



After firing

